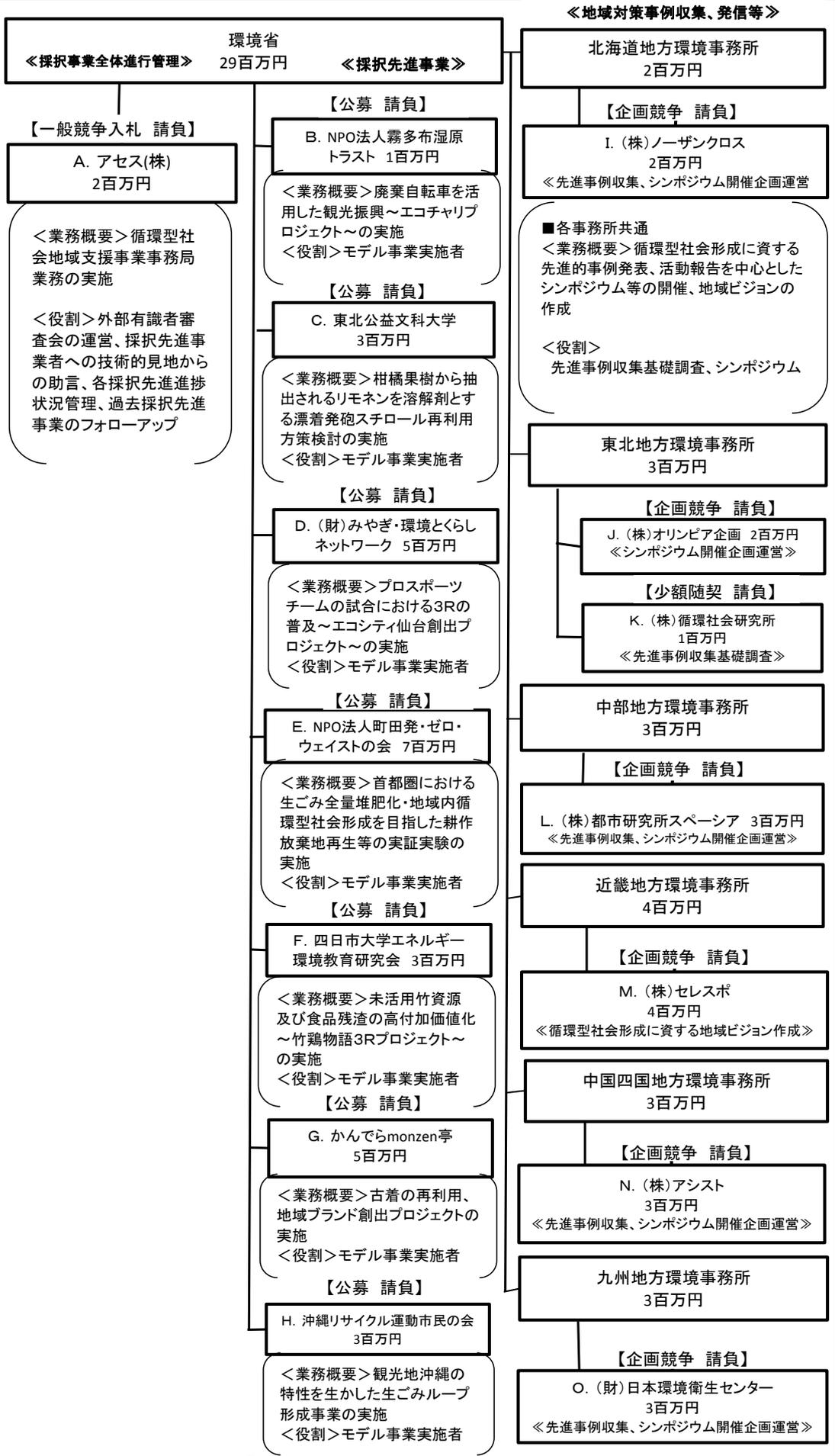


行政事業レビューシート						(環境省)
予算事業名	地域からの循環型社会づくり支援事業		事業開始年度	平成20年度		作成責任者
担当部局庁	廃棄物・リサイクル対策部		担当課室	循環型社会推進室		循環型社会推進室長 大森恵子
会計区分	一般会計		上位政策	廃棄物・リサイクル対策の推進		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	循環型社会形成推進基本法(平成十二年六月二日法律第百十号)第二十八条…『民間団体等の自発的な活動を促進するための措置』		関係する計画、通知等	循環型社会形成推進基本計画(平成二十年三月二十五日閣議決定)第5章『国の取組』第2節『国内における取組』		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本事業は、埋もれがちな地域活動の先進的な取組事例を発掘・支援し、また、これらのモデル事業の成果をNGO/NPO、民間事業者等を対象として情報共有・発信を行うことにより、新たな取組の開始や類似の取組の水平的な展開、取組内容の深化が促進され、小規模で行われていた事業がブロック内でネットワークを形成し、活性化するなど一層の活動の拡充が図られることを目的としている。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>1. NGO/NPOをはじめとする民間の団体のそれぞれのアイディアや地域の力を存分に活用した、3Rなどの循環型社会地域づくりの推進に資する取組、先進的・モデル的な取組を発掘・支援する。なお、対象となる先進的な事業については、外部有識者会合により選定を行う。</p> <p>2. 地域の基盤となるネットワークを構築し、地域からの循環型社会づくりを促進するため、先進的な取組事例の紹介や、他の地域の取組主体の情報共有のために先進的な事業を行っている市民団体等の参加を促すため、シンポジウムの開催や、地域政策ビジョン策定のための事例収集調査などの基盤整備に資する事業を行う。</p> <p>※2. の基盤整備事業は21年度予算をもって廃止。</p>					
実施状況	<p>1. モデル事業支援…公募を行った結果、全国から54件の募集があり、外部有識者審査会を踏まえて7つの先進的な事業を採択し、事業を支援した。</p> <p>2. 基盤整備事業…6地方環境事務所において、循環型社会形成に資する先進的事例、活動報告を中心としたシンポジウム等の開催等を実施した。</p>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	—	60	56	29	
	執行額	—	57	46		
	執行率	—	95.00%	82.14%		
総事業費(執行ベース)	—	57	46			
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	支援対象事業の状況把握については、進行を管理する請負事業者が各採択事業実施団体等と密に連絡を取りつつ行い、加えて、随時事業実施に必要なアドバイスを行っている。さらに、必要に応じ職員が現地出張し、事業進捗や内容の把握を行っている。各採択事業実施団体等からは、事業実施の成果について、外部有識者を交えた報告会において報告を受けるとともに、成果物の提出により内容確認を行っている。				
	見直しの余地	<p>本事業では、地域活動の先進的な取組事例の発掘・支援・情報共有及び発信をすることにより、取組内容の深化が促進され、また類似の取組や新たな取組の水平的な展開及びブロック内の活性化が期待されてきたところである。</p> <p>従前は、募集要領に基づき応募された各地域の経済的・社会的状況に応じた先進的な取組について、外部有識者の意見を踏まえて事業採択してきたため、バラエティ豊かな内容となった。今後は、これまでに集積した知見を生かして事業を発展進化させるために、中央環境審議会循環型社会計画部会での議論等も踏まえ、今後の施策の方向と密接に関連する一定の重点テーマ(例えば3Rエコポイント活用部門、循環ビジネス創出部門、バイオマス活用部門など)を年度ごとに設けて、それぞれの取組がもたらす事業効果を比較し、外部有識者の意見を踏まえて事業採択する。</p> <p>さらに、今後の課題として事業効果の定量的把握、効率的かつ効果的な事業の波及手法の確立が必要である。</p> <p>また、既存の普及啓発ツールである「Re-Style」ホームページや3R推進全国大会において、情報発信をしっかりと実施していく。</p>				
化予 算 監 視 の 効 率 ・ 所 見 率						
補 記	○予算繰越(当該年度の前年度からの繰越額)					
		19年度	20年度	21年度		
		0	0	0		

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
 (単位:百万円)



**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.アセス(株)			I.(株)ノーザンクロス		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	プロジェクト進行管理事業費	2	雑役務費	事例収集調査・シンポジウム開催費	2
計		2	計		2
B.NPO法人霧多布湿原トラスト			J.(株)オリンピア企画		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	モデル事業費	1	雑役務費	シンポジウム開催費	2
計		1	計		2
C.東北公益文科大学			K.(株)循環社会研究所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	モデル事業費	3	雑役務費	事例収集調査費	1
計		3	計		1
D.(財)みやぎ・環境とくらしネットワーク			L.(株)都市研究所スペース		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	モデル事業費	5	雑役務費	事例収集調査・シンポジウム開催費	3
計		5	計		3
E.NPO法人町田発・ゼロ・ウェイストの会			M.(株)セレスポ		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	モデル事業費	7	雑役務費	循環型社会形成地域ビジョン作成費	4
計		7	計		4
F.四日市大学エネルギー環境教育研究会			N.(株)アシスト		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	モデル事業費	3	雑役務費	事例収集調査・シンポジウム開催費	3
計		3	計		3
G.かんでらmonzen亭			O.(財)日本環境衛生センター		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	モデル事業費	5	雑役務費	事例収集調査・シンポジウム開催費	3
計		5	計		3
H.沖縄リサイクル運動市民の会					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	モデル事業費	3			
計		3	計		